# 機械系数値解析レポート

担当:帯川先生

出題:5/29

レポート作成日:05/30

提出〆切:6/26

提出先:機械系事務室

精密工学専攻 修士1年

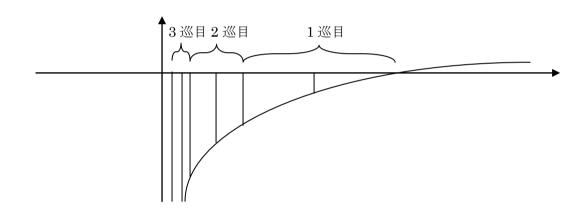
学籍番号: 37-136277

平松照悟

#### ■問1. ■

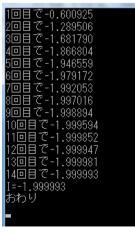
以下の式をガウス・ルジャンドル積分を用いて相対精度 0.0001 で解を求めよ. I=∫[0,1]log(x^2)dx

#### ●方法:



まず積分区間を3等分し、x 軸正側の2つの区間でそれぞれ5 分点のガウス・ルジャンドル積分を行った。 残った一番左の区間は、再び3等分し、一番左の区間を残して積分するのを繰り返した。 相対誤差が許容範囲内に入ったら計算終了とした。

#### ●結果:



14 巡目で収束し,値は 1.999993 となった.

#### ■問2. ■

以下の非線形連立方程式を相対精度 0.0001 の Newton-Raphson 法で解け. また, 初期値による収束値の違いを x-y のグラフ領域で図示せよ.

 $t(x,y)=3*x^3-2*y-1=0$ 

 $s(x,y)=3*x-y^3-2=0$ 

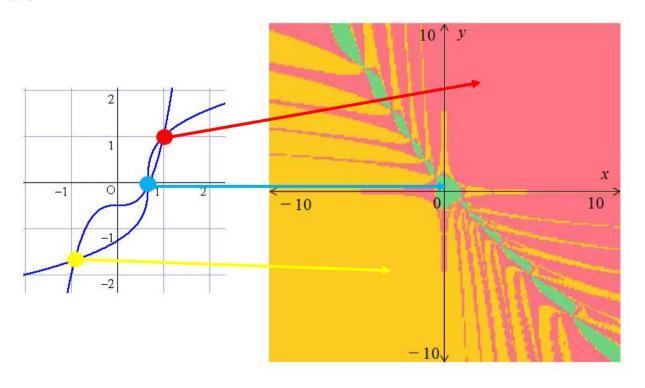
#### ●方法:

[t; s]=O を線形化すると, [t(x0,y0); s(x0,y0)]+{\(\phi(t,s)\/\phi(x,y)\)}|\_{x=x0,y=y0}[x-x0; y-y0]=O ここで, ヤコビ行列\(\phi(t,s)\/\phi(x,y)\)は, [tx ty; sx sy]=[9x^2 -2; 3 -3y^2]なので, 線形化は結局, t(x0,y0); s(x0,y0)]+[9\*x0^2 -2; 3 -3\*y0^2][x-x0; y-y0]=O である. これを[x0, y0]について解いて,

```
\begin{array}{l} t = 3*x0*x0*x0-2*y0-1; \\ s = 3*x0-y0*y0*y0-2; \\ x = x0-(1/(6-27*x0*x0*y0*y0))*(-3*y0*y0*t+2*s); \\ y = y0-(1/(6-27*x0*x0*y0*y0))*(-3*t+9*x0*x0*s); \\ x0 = x; \\ y0 = y; \end{array}
```

これを許容誤差内で収束するまで繰り返す. 初期値は x,y それぞれ 0.1 刻みで-10 以上 10 以下で収束値を計算し、 収束値の違いに従って色分けしプロットした.

### ●結果:



#### ■問3. ■

次の連立一次方程式を Gauss-Seidel 法で解き、方程式が収束する a の範囲を小数点以下2桁の精度で求めよ.

```
A=[a-3 1 1 1 1; 1 -a+2 2 1 1; 1 1 a+2 1 1; 1 1 1 a+3 1; 1 1 1 1 -a-2]
b=[a+1; -a+7; a+6;a+7; -a+2]
Ax=b
```

## ●方法:

初期値は x1=x2=x3=x4=x5=0 とした.

```
//反復計算
n=0;
do{
         dx=0.0;
         absx=0.0;
         for(i=1;i \le N;i++)
                  sum=0;
                            for(j=1;j<=N;j++){}
                            if(i!=j){
                                     sum+=A[i][j]*x[j];
                   next=1.0/A[i][i]*(b[i]-sum);
                   dx += fabs(next-x[i]);
                   absx+=fabs(next);
                   x[i]=next;
         n++;
}while(dx/absx > EPS && n<limit);</pre>
```

# ●結果:

```
aが収束した範囲は,
```

```
a<=-3.60

-3.22<=a<=-1.45

-0.98<=a<=1.53

1.82<=a<=2.16

2.82<=a<=3.32

3.70<=a
```

このとき、x1=x2=x3=x4=x5=1 に収束した.

**END**